

# 主日礼拝

2023年4月2日  
午前10時30分

## 前奏

## 参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「24はっきり言っておく。  
一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、  
一粒のままである。  
だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」(ヨハネ 12:24)

## 頌栄 27 「父・子・聖霊」



ちち子せいのひとりの主よ、さかえとち  
からはただ主にあれ、とこしえまで。  
アーメン。

## 受難節のリタニー

《受難節第6主日》

司式者：私たちは群衆と同じように深く考えないで、  
不正の波にのったことがあります。これからは  
もっと、私たちにもものを正しく見る目と、  
判断力を与えてください。

会衆：主よ、私たちをあわれみ導いてください。

司式者：群衆の「ホサナ」は すぐにまた「十字架に  
つけろ」に変わったことを思いつつ、この  
ろうそくを消します。(消火)

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」



キリエ エレイソン キリエ エレイソン  
しゅよ あわれみをしゅよ あわれみをしゅよ  
キリエ エレイソン  
しゅよ あわれみをしゅよ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

\* 「キリエ・エレイソン」は、「主よ、あわれんでください」という意味。

## 聖書 ルカによる福音書 23:32～49

新約(新共同訳) p158～p159

32 ほかにも、二人の犯罪人が、イエスと一緒に死刑に  
されるために、引かれて行った。33 「されこうべ」と  
呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字  
架につけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字  
架につけた。34 [そのとき、イエスは言われた。「父  
よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか  
知らないのです。」] 人々はくじを引いて、イエスの  
服を分け合った。35 民衆は立って見つめていた。議員  
たちも、あざ笑って言った。「他人を救ったのだ。も  
し神からのメシアで、選ばれた者なら、自分を救うが  
よい。」36 兵士たちもイエスに近寄り、酸いぶどう酒  
を突きつけながら侮辱して、37 言った。「お前がユダ  
ヤ人の王なら、自分を救ってみろ。」38 イエスの頭  
の上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札も掲げて  
あった。

39 十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエス  
をののしった。「お前はメシアではないか。自分自身と  
我々を救ってみろ。」40 すると、もう一人の方がたし  
なめた。「お前は神をも恐れないのか、同じ刑罰を受  
けているのに。41 我々は、自分のやったことの報い  
を受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も  
悪いことをしていない。」42 そして、「イエスよ、あ  
なたの御国においてになるときは、わたしを思い出  
してください」と言った。43 するとイエスは、「はっ  
きり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園  
にいる」と言われた。

44 既に昼の十二時ごろであった。全地は暗くなり、そ  
れが三時まで続いた。45 太陽は光を失っていた。神殿  
の垂れ幕が真ん中から裂けた。46 イエスは大声で叫ば

れた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。47 百人隊長はこの出来事を見て、「本当に、この人は正しい人だった」と言って、神を賛美した。48 見物に集まっていた群衆も皆、これらの出来事を見て、胸を打ちながら帰って行った。49 イエスを知っていたすべての人たちと、ガリラヤから従って来た婦人たちは遠くに立って、これらのことを見ていた。

### 賛美 309 「あがないの主に」

Gloria, laus, et honor  
詞: Theophilus d'Okeanos, 7-821  
曲: VALET WILL ICH DIR GEBEN  
曲: Melchor Teschner, 1584-1635

1-4 あがないの主にみさかえあれ、  
おさなき子らも「ホサナ」うたわん。

1 ダビデのすえなるまことの主よ、  
2 しゅうの葉がさして いざ、迎えよ、  
3 じゅうのいのちをうけいれたもう、  
4 われらのいのちをうけいれたもう、

主のみ名にとりてきつたものよ、  
てんしあわせもにほめたえうたわん、  
めぐみにみとちもなる主はおな

- |  |  |
|--|--|
| 1 あがないの主に み栄えあれ、<br>幼き子らも「ホサナ」歌わん。<br>ダビデのすえなる まことの主に、<br>主のみ名によりて 来たるものに。 | 3 あがないの主に み栄えあれ、<br>幼き子らも「ホサナ」歌わん。<br>十字架の道を 進みし主を<br>声合わせ共に たたえうたわん。    |
| 2 あがないの主に み栄えあれ、<br>幼き子らも「ホサナ」歌わん。<br>しゅうの葉がさして いざ、迎えよ。<br>天使らと共に、ほめたえよ。   | 4 あがないの主に み栄えあれ、<br>幼き子らも「ホサナ」歌わん。<br>われらの祈りを 受けいれたもう、<br>恵みに満ちたる 主は王なり。 |

### 説教 「自分を救えない王こそ救い主」

### 賛美 304 「茨の冠を主にかぶせて」

To mock your reign  
詞: Fred Pratt Green, 1903  
曲: KINGSFOLD  
曲: イギリス伝統旋律

1 いばらのかんむりを主にかぶせて、  
2 むらさきのふくをむりにはいで、  
3 あしのぼうで つよくたたきつけ、

「ユダヤ人のおう」と主をあざける。  
わらいものにして主をあざける。  
死においやるまで主をあざける。

かれらはそのときしらなかつた、  
かれらはそのときしらなかつた、  
かれらはそのときしらなかつた、

そのきずがわたしをいやすことを。  
主がわたしのほじをおうことを。  
みくにはえいえんにつづくことを。

- |  |  |
|--|--|
| 1 茨の冠を 主にかぶせて、<br>「ユダヤ人の王」と 主をあざける。<br>かれらはその時 知らなかった、<br>その傷がわたしを いやすことを。 | 3 葦の棒で強く たたきつけ、<br>死に追いやるまで 主をあざける。<br>かれらはその時 知らなかった、<br>み国は永遠に つづくことを。 |
| 2 紫の服を 無理にはいで、<br>笑いものにして 主をあざける。<br>かれらはその時 知らなかった、<br>主がわたしの恥を 覆うことを。    |  |

### 派遣

- 司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

### 祝祷

### アーメン

アーメン アーメン アーメン

### 後奏

- 司式 喜多村 文子  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

### 【誕生会のリタニー】

- 司式者：神さまは、4月生まれの方々に  
誕生日を与えてくださいました。  
いのちをくださる神さま、  
みんな：ありがとうございます。  
司式者：神さまは、生まれてから今日まで、  
この方々の成長を支えてくださいました。  
育ててくださる神さま  
みんな：ありがとうございます。  
司式者：神さまは、どんなときにもいっしょに  
いてくださいます。  
守ってくださる神さま  
みんな：ありがとうございます。  
司式者：神さまからの愛のプレゼント、  
4月生まれの方々の誕生日を  
みんなで喜びお祝いします。

### 祝福のお祈り 牧師